

平成 29 年 5 月 24 日第 1 回通常理事会承認議決

平成 28 年度

(第 5 事業年度)

事業報告 (案)

平成 28 年 4 月 1 日から
平成 29 年 3 月 31 日まで

公益財団法人ソルフェージュスクール

「平成 28 年度事業報告」目次

要 旨	1
《事業活動》	
ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）	
1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営	
（1）ソルフェージュに関する指導等および各種楽器、声楽等の実技指導	
【週 1 回のレッスン及び年数回の特別講習】	2
【月 2 回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】	2
【月 1 回のコーラスのレッスン】	3
【月 2 回のリコーダーのレッスン】	3
【春のミュージックキャンプ】	3
【夏季合宿】	3-4
【楽しくアンサンブル】	5
【成人対象の講習会】	5
（2）ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及	
① 特別プロジェクト	
【ソルフェージュスクール創立 55 周年記念演奏会】	5
② 従来プロジェクト	
【ソルフェージュスクール演奏会】	6
【前期おさらい会】【後期おさらい会】	7
【研究会】	7
【試演会】	7
【講師によるコンサート】	8-9
【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】	9
③ 地域プロジェクト	9
（3）資料収集、出版物刊行及びホームページの充実	9-10
2. 音楽ホール、練習室の貸与	10
3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催	10
《管理部門》	
1. 法人としての諸会議	11-12
2. 公益財団法人の情報公開	12
3. 業務執行体制の強化	12
4. 附属明細書について	12

要 旨

幼児から大人まで幅広い年齢層への音楽指導を通して、豊かな心を持つ人材の育成に努めるという当財団の公益目的を達成するため、各事業内容の更なる充実を図った。

「ソルフェージュスクール創立 55 周年記念演奏会」を開催。新たに子どもの合唱団への一般参加を募集し、大人から子供までの合唱団と弦楽で、サウンド・オブ・ミュージックを演奏し、当財団が 55 年間に積み重ねてきた音楽指導の成果を社会一般に周知させることができた。また、この子どもの合唱団を継続し、生徒数増加につなげていくきっかけとした。

55 周年ということでの寄付金も多少増額、また上記努力等により生徒数も少しずつではあるが増加しており、財政的には赤字幅を縮小することができた。

《事業活動》

ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）

1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営

当財団の運営するソルフェージュスクールにおいて下記の事業を行った。

（1）ソルフェージュに関する指導等及び各種楽器、声楽等の実技指導

ソルフェージュの研究の促進及び指導者育成を目的として研究者、指導者及びこれから研究、指導を目指す者、また関心のある一般を対象とした研究発表会、講習会、音楽会等を開催した。いずれも一般に公開した。なお、これら事業内容の具体的な実施の詳細については、毎月の運営委員会で決定したものを実施した。

当法人が開発したソルフェージュジェットやリズムカード及び以前フランスで使われていた教本を翻訳・復元した教材等を用い、ソルフェージュスクールカリキュラムに沿って、具体的にリズム・拍・音程を習得させ、読譜力・視唱力・聴音力を身に付けさせた。それに器楽、声楽等の実技指導及び年数回の特別講習会を加え、音楽文化の理解を深めさせつつ実技を習得させた。

【週1回のレッスン及び年数回の特別講習】 一般対象 受講生のべ 884名/年

- 1 学期 4 月 7 日（木）～7 月 23 日（土）
- 2 学期 9 月 6 日（火）～12 月 22 日（木）
- 3 学期 1 月 10 日（火）～3 月 23 日（木）
- 特別講習 8 月 27 日（土）及び 8 月 28 日（日）

* レッスン及び特別講習の曜日、時間は月曜日を除く週 6 日の中から生徒と講師が相談して決め、原則として、週 1 回のレッスンとし、年間合計で 40 回プラス特別講習 1 回を実施した。

* 受講費は別途入室案内に公開した。

【月 2 回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】 一般対象

受講生のべ 125名/年

* 成人受講生主体で月二回の日曜日、弦楽合奏のレッスンと小グループによる室内楽のレッスンを行った。

* 原則として月 2 回とし年間合計で 22 回を実施した。

* 受講費は別途入室案内に公開した。

【月 1 回のコーラスのレッスン】 一般対象 受講生のべ 256名/年

*成人受講生主体で月一回土曜日に行った。

*受講費は別途入室案内に公開した。

【月 2 回のリコーダーのレッスン】 一般対象 受講生のべ 24名/年

*成人受講生主体で月二回火曜日に行った。

*受講費は別途入室案内に公開した。

【春のミュージックキャンプ】 一般対象 受講生 10名

2017 年 4 月 1 日（土）、4 月 2 日（日）2 日間 当法人ホール及び教室

普段の個人レッスンではなかなか取り組めないアンサンブルの経験を積むための 2 日間の講座で、受講生の組合せを工夫し、様々なグループで用意された曲を勉強した。二日目の最後に発表会コンサートを開き、成果を披露した。内容の充実したキャンプであった。

【夏季合宿】 一般対象 受講者 21名

8 月 18 日（木）～21 日（日）3 泊 4 日 清里ペンションスケッチブック

中学生以上を対象として毎年行う合宿。昨年とは別のペンションを借り切って開催。受講生は、2つの楽器での参加者もあり、フルート 4 名、ヴァイオリン 8 名、ヴィオラ 3 名、チェロ 3 名、ピアノ 5 名、歌 1 名。年代別では、中学生 2 名、高校生 6 名、大学生 4 名、社会人 9 名。特別講師の亀井由紀子氏をむかえ、講師は全 8 名だった。

8/18 (木)	現地集合・チェックイン 15 時			開校準備	レッスン	夕食	自由練習
8/19 (金)	朝食	レッスン	昼食	レッスン		夕食	自由練習
8/20 (土)	朝食	レッスン	昼食	レッスン (ゲネプロ)		夕食	自由練習
8/21 (日)	朝食・荷造り チェックアウト 10 時	コンサート	現地解散				

■講師

弦楽指導 : 亀井由紀子 (Vn 特別講師)、林徹也 (Vn、Va)、妹尾美紀子 (Vn)、吉村隆子 (Vc)
 フルード指導 : 山崎孝子
 ピアノ指導 : 大村明子、込山今日子
 歌指導 : 江原陽子

■ 内容

< レッスン >

同じレベルの受講生によるクラスを編成し、クラスごとに 1 時間単位のレッスンを 3～4 回行った。

	曲 目	編 成
1	モーツァルト ヴァイオリンソナタKV570	Vn Pf
2	シューマン ピアノクインテット	2Vn Va Vc Pf
3	ベートーヴェン Op.132	2Vn Va Vc
4	ハイドン ロンドントリオNo.1	2Fl Vc
5	ペルゴレージ トリオソナタ No.5	2Vn Vc Pf
6	ハイドン Op.3-5	2Vn Va Vc
7	テレマン 「ターフェルムジーク第2集」より d-moll	2Fl Vc
8	連弾	Pf
9	声楽	声楽
10	チェレプニン 四重奏曲Op.60	Fl
11a	ヘンデル コンチェルトグロッソOp.6-9 1,2,3,6楽章	弦楽
11b	ヘンデル ジュリアスシーザー	弦楽器と歌
11c	モーツァルト フィガロのアリアより	弦楽器と歌
12	リコーダーアンサンブル	リコーダー

< コンサート >

成果を発表するコンサートを 4 日目の午前中に開催。受講生の家族や知人等一般に公開し、好評を博した。

1	ヘンデル	コンチェルトグロッソ Op.6-9 第 1, 2, 3, 6 楽章	弦楽合奏
2	モーツァルト	「フィガロの結婚」より アリア「ついにその時が来たわ」	Sop 弦楽
3	チェレプニン	4つのフルートのための 四重奏曲 Op.60 全 3 楽章	4Fl
4	モーツァルト	ヴァイオリンソナタ K.570 第 3 楽章	Vn Pf
5	ペルゴレージ	トリオソナタ No.5 より 第 1 楽章	2Vn Vc Pf
6	ハイドン	ロンドントリオ No.1 より 第 1 楽章	2Fl Vc
7	ハイドン	弦楽四重奏曲 Op.3-5 より 第 1 楽章	2Vn Va Vc
8	アンダーソン	舞踏会の美女	Pf 連弾
9	テレマン	ターフェルムジーク第 2 集より 四重奏曲 d-moll 第 1, 4 楽章	2Fl Rec Vc
10	シューマン	ピアノ五重奏曲 Op.44 第 1, 2 楽章	2Vn Va Vc Pf
11	フォーレ	小ミサ曲より キリエ、サンクトゥス、アニュス・デイ	女声合唱
12	ベートーヴェン	弦楽四重奏曲 Op.132 より 第 1 楽章	2Vn Va Vc

【楽しくアンサンブル！】 一般対象

夏季	7月18日（月・祝）	当法人ホール及び教室	受講生	15名
冬季	12月23日（金・祝）	同上	受講生	12名

小3以上を対象とし、初見で演奏する力を養うためのアンサンブルによる1日の講座で7月と12月の2回開催した。個々の参加者の実力に合わせて無理なく楽しく、初見と共にアンサンブルの体験を積むように指導者が導き、受講者それぞれにとって有意義な時間となった。

【成人対象の講習会】 一般対象

入門「大人のための基礎音楽入門」	5～7月10回コース	生徒なし
中級「大人のためのいきいき音楽講座Ⅱ」	10月～12月10回コース	受講生2名

当法人ホール及び教室にて開催。

前期の入門講座は生徒が集まらず、残念ながら開講できなかった。
後期の講座は、年代の違う男性2人の受講生となり、音楽の新しい楽しみをみつけてくださる等、意義あるレッスンとなった。

(2) ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及

①特別プロジェクト

【ソルフェージュスクール創立 55 周年記念演奏会
2017 年 1 月 29 日（日） 東京文化会館小ホール】（有料）

5年毎に外部会場で開催する、ソルフェージュスクールの周年記念演奏会。

今回は、初めて東京文化会館小ホールで開催することができた。

弦楽と合唱による「サウンドオブミュージック」を演奏曲目に加え、スクール生徒以外に、数回の合同練習に参加をした一般の子ども（高校生まで）も合唱に参加し、大人から子供まで、総勢 80 名が一つの舞台に立ち、一緒に演奏を行い、好評を博した。

この合唱のレッスン（一般も参加）を、月 1 回継続している。

演奏曲目

モーツァルト	ヴァイオリンソナタ	K.454
ドヴォルザーク	「スラブ舞曲」より	
R.ロジャース	「サウンド・オブ・ミュージック」より	

演奏者

亀井由紀子 Vn、水野紀子 Pf
ソルフェージュスクール室内合奏団、古澤裕治、山崎孝子、込山今日子
子供合唱団レ・テタール、大人合唱団レ・グルヌイユ

②従来のプロジェクト

【ソルフェージュスクール演奏会 6月26日(日) 日本橋公会堂】

ソルフェージュスクールの受講生全員が、リトミック、室内楽、器楽合奏、弦楽合奏、合唱等のいずれかに出演し、当財団が重視しているアンサンブルの体験を楽しむ機会となった。外部のホールで催す年1回の定期演奏会。来場者がスクールの教育を大観し、ソルフェージュの教育を理解する重要な機会として位置づけている。

年1回、通常は異なる日に受講しているソルフェージュスクールの受講生が一堂に集まり、数回の合同練習を通して普段学習しているソルフェージュスクールでの成果がいかにかに活かされるかを体感し、また聴衆前で発表するという機会をもった。幼児のソルフェージュ及びリトミッククラスのデモンストレーションでは、小鳥のおうちを舞台にセットし、そこに音譜を貼ったり、スカーフを使って音楽に合わせて動く等、通常のレッスンそのままを公開する形となり、ソルフェージュスクールの教育のあり方を示すことができた。

ピアノ連弾A	グローバー「小川の水車」 バステイン「ロンド・ファンタスティーク」
ピアノ連弾B	アレンスキー「カッコー」「ワルツ」
室内楽A	コレルリ「ソナタ」よりアダージョ リュリ「シャコンヌ」
室内楽B	モーツァルト「弦楽四重奏曲」 Gdur KV387 第1楽章
リトミック&うた	「月火水木金土日のうた」 「10人のインディアン」
器楽合奏	イエッセル「おもちゃの兵隊の行進」
弦楽合奏	レスピーギ「古代舞曲とアリア 第3組曲」より 1.イタリアーナ 2.宮廷のアリア 4.パッサカリア
合唱	曲/リチャード・ロジャース 詞/オスカー・ハンマーstein II 「サウンド・オブ・ミュージック」より サウンド・オブ・ミュージック 私のお気に入り ドレミの歌 エーデルワイス さよなら ごきげんよう

【前期おさらい会 10月30日(日)当法人ホール】 出演生徒 18名

【後期おさらい会 2017年3月20日(月・祝)当法人ホール】 出演生徒 23名

10月と3月の前後期に分けて開く発表会で、器楽、声楽を学ぶソルフェージュスクールの受講生の演奏を一般公開し、本校での教育の特徴を見てもらった。

器楽、声楽を学んでいる受講生(主に個人レッスン)は少なくとも年一回は人前で演奏披露することで、普段とは違う学習と練習を体験する大切な場であり、また生徒同士、父兄、教師にとっては個人レッスンの進捗状況を知る良い機会であった。

【研究会 5月20日(金)26日(木) 2017年3月23日(木)

当法人ホール及び教室】

ソルフェージュ、器楽の教授方法、教本の使い方や生徒への対応の仕方など、時々テーマを設けて講師一同が意見の交換をしてレッスンの質の向上を目指すための研究会。

<5月>

弦楽器講師とピアノ講師にわかれて研究会を行った。

*5月20日

弦楽器講師の研究会では、レベルの分け方、使う教材、ビブラート、弓の持ち方について話し合い、お互いに意見交換をし今後のレッスンにつながる有意義な時間となった。

*5月26日

ピアノ講師の研究会では、生徒のレベル分け方、使う教材について話し合われた。

<3月23日>

4月末に行われる春のコンサートで演奏するバッハの曲についての考察を行ない、事前に意見交換をすることにより、演奏内容理解を深めることができた。

【試演会 11月27日(日) 当法人ホール】

プログラム

ショパン : ノクターン No.1 Op. 9-1
No.13 Op. 48-1 <Pf>

モーツァルト : ピアノトリオ 変ホ長調 K. 498
「ケーゲルシュタット・トリオ」 <Va, Cl, Pf>

講師有志の独奏とアンサンブルによる演奏を聴き合い、日頃教える立場にある者により、お互いに有意義な意見交換がもたれた。

【講師によるコンサート】

＜春のコンサート 4月 29日（金・祝）当法人ホール（有料）＞

ソルフェージュスクールの講師及び、ゲスト演奏家を交えての演奏会。
今回は、ホルンの水野信行氏をゲストとして迎え、全てモーツァルトの曲として統一しながら、クラリネット五重奏、ホルン五重奏、ピアノ協奏曲、オペラアリア、と多彩な内容になり、多くの方々に楽しんでいただけるコンサートとなった。

クラリネット五重奏曲 KV 581 イ長調 Cl、2Vn、Va、Vc
ホルン五重奏曲 KV 407 変ホ長調 Hr、Vn、2Va、Vc
ピアノ協奏曲第 19 番 KV 459 ヘ長調より Solo Pf、Pf
オペラ「フィガロの結婚」より
スザンナのアリア「とうとう嬉しい時がきた」
ケルビーノのアリア「恋とはどんなものかしら」
ケルビーノのアリア「自分で自分がわからない」
Sop、室内合奏

出演： Hr 水野信行、Cl 古澤裕治、Vn 糸井みちよ、妹尾美紀子、
Va 林徹也、川崎公子、Vc 吉村隆子、Pf 込山今日子、林さち子、
Sop 江原陽子、ソルフェージュスクール室内合奏団

＜クリスマスの集い 12月 18日（日）当法人ホール（有料）＞

例年は、春のコンサートと同様に、講師が自ら演奏をするクリスマスコンサートとして開催していたが、本年は、新しい試みとして、クリスマスの集いとし、講師や生徒の演奏を聴くだけでなく、観客も一緒にクリスマスソングを歌うコンサートとして入場料を安くして、開催した。
一般の方のよく知っている優しい曲が多く、子どもたちも楽しく聴き、一緒に参加できるコンサートとなり、とても好評であった。

ひさしくまちにし
(二重唱) 天使の糧
(連弾) くるみ割り人形より 花のワルツ
(コーラス) Have Yourself A Merry Little Christmas
すべての山に登れ
(リコーダー四重奏) コヴェントリーキャロル
クリスマスパストラレー
In Dulci Jubilo
(連弾) そりすべり
(みんなで歌おう) あわてんぼうのサンタクロース
あらののはてに
(合奏) ジングルベル
バッハのクリスマス
きよしこのよる

出演：江原陽子、加藤恵理、河向來実、込山今日子、坂本明子、坂本桂一、
林さち子、古澤裕治、レ・グルヌイユ、ソルフェージュスクール講師有志

【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】 一般対象（原則として有料）

8 月 16 日（火）に、現在アメリカで活躍中のヴァイオリニスト・亀井由紀子氏を講師として招き、公開レッスンを行った。ヴァイオリン 3 名、ヴァイオリンとピアノのトリオ 1 組、ヴァイオリンとチェロとピアノのトリオ 1 組が受講し、それぞれに温かみのある内容の濃いレッスンをしていただいた。聴講も 17 名にのぼり、意義のあるレッスンとなった。

③地域プロジェクト

＜クリスマスコンサート 12 月 13 日 区民ひろば富士見台 ＞

豊島区の NPO 法人富士見台ひろば主催のクリスマスコンサートゆりかごのうた（無料）へ当財団講師 2 名を派遣した。

（3）資料収集、出版物刊行及びホームページの充実

ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜、楽器を購入すると共にソルフェージュの普及のため研究成果及び教育内容などの出版を行う。また授業、事業活動及び法人運営資料等についてはホームページに掲載する。ホームページの内容充実と更新を継続して行う。

① 機関誌「ソルフェージュスクール新聞」の発行

年 2 回（10 月と 3 月） 各 800 部発行 一般に無料配布した

② ソルフェージュ指導楽譜の発行（教材として使用し、一般に実費配布）

シャセバン 1 ￥500－（税抜）
シャセバン 2 ￥400－（税抜）
シャセバン 3 ￥400－（税抜）

③ ソルフェージュ教育の理念を著した冊子の発行（一般に実費配布）

当財団の設立者たちがソルフェージュ教育の理念について書き残した文書を冊子として発行し、一般への普及を図るために、文書類の整理を、昨年度に引き続き行った。

④ ホームページの充実

ホームページの更新間隔を短縮し、迅速な情報伝達を強化してきた。内容を濃くすると共にわかりやすい表現となるよう工夫を重ねた。

Facebook も開設し、身近にソルフェージュスクールの内容を見てもらえるよう、迅速に更新していった。アクセス数も多く、効果があった。

役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、各事業報告書及び収支計算書・貸借対照表他並びに各事業計画書及び収支予算書を公開した。

⑤ 他のデータシステムとの連携

NOPODAS（非営利法人データシステム）、文部科学省関係法人名鑑及び音楽教育関連データシステム等に登録をして当財団の周知向上を図った。

2. 音楽ホール、練習室の貸与

当財団の所有するホール及びピアノの設置された教室（練習室）を、当財団が使用していない時間に、当財団の事業及び公益目的に合致する者に低廉な対価で貸与した。

とくに、音楽学校受験生の使用費用は一般の 2 割引きとして活用を促した。

* 随時受付、費用は別途料金表に公開している。

3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催 一般対象（原則として無料）

【合奏及び室内楽演奏法】 原則として月 1 回 当法人ホール

室内楽授業を、原則として月 1 回、一般に無料聴講できるように公開し、合奏及び室内楽の演奏法を習得してもらうと同時にソルフェージュ教育の成果を実感してもらった。

【講習会・講演会】

諸般の事情により、今年度は行わなかった。

《 管理部門 》

1. 法人としての諸会議

定款の規定に基づき、評議員会及び理事会等を開催した。

定時評議員会は 2016 年 6 月に 1 回、通常理事会は 2016 年 5 月及び 2017 年 2 月の 2 回、それぞれ開催した。

【平成 28 年 5 月 19 日 決算監査】

開催場所：当財団 2 階会議室

出席等：監事 2 名出席

【平成 28 年 5 月 31 日 平成 28 年度 第 1 回通常理事会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団 2 階会議室

決議事項：1. 平成 27 年度事業報告及び決算の承認決議
2. 平成 27 年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議
3. 評議員会で選任される評議員、理事及び監事の推薦候補（案）の件
4. 平成 28 年度定時評議員会の招集決議

出席等：理事 5 名、監事 2 名出席、評議員 1 名同席

【平成 28 年 6 月 20 日 平成 28 年度 定時評議員会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団 3 階ホール

決議事項：1. 平成 27 年度事業報告及び決算並びに平成 27 年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議

2. 当評議員会で任期満了となる評議員、理事及び監事を選任する件

報告事項：1. 資産の管理運用状況の報告

2. 平成 28 年度事業計画及び収支予算書等の内容報告の件

出席等：評議員 4 名、監事 1 名出席、理事 7 名同席

【平成 28 年 6 月 20 日 平成 28 年度 臨時理事会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団 2 階会議室

決議事項：1. 理事長、専務理事及び常務理事選定の件

2. 常勤役員である理事長、専務理事及び常務理事の報酬の決定

3. 名誉会長を設ける件

平成 28 年度事業報告書

理事長伝達事項：

1. 常勤役員担当について
2. 委員会委員について
3. 代表理事は 2 名とし、理事長と専務理事の 2 人が代表理事を務め、
常務理事が業務執行理事を務める

出席等：理事 5 名、監事 2 名出席、前理事長同席

【平成 28 年 10 月 3 日 平成 28 年度 臨時理事会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団 2 階会議室

決議事項：1. 「職務権限規程」の変更の承認決議

報告事項：1. 資産の管理運用状況の報告

2. 代表理事及び業務執行理事の業務執行報告

出席等：理事 5 名、監事 1 名出席

【平成 28 年 12 月 20 日 平成 28 年度 臨時理事会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団 2 階会議室

決議事項：1. 「業務の適正運営を確保するための体制」の決議

2. 「コンプライアンス規程」制定の決議

3. コンプライアンス担当理事設置の決議

4. 加藤光俊評議員に「創立 55 周年記念演奏会」のステージ
マネージメントフィーを支給することについての承認決議

5. 水野紀子講師に「創立 55 周年記念演奏会」の出演料を支給する
ことについての承認決議

出席等：理事 5 名、監事 2 名出席

【平成 29 年 2 月 20 日 平成 28 年度 第 2 回通常理事会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団 2 階会議室

決議事項：1. 平成 29 年度事業計画及び収支予算書等の決議

2. 平成 28 年度基本財産一部変更の決議

3. 「講師職務規程」及び「講師給与及び報酬規程」改正の決議

出席等：理事 5 名、監事 2 名出席

2. 公益財団法人の情報公開

現在公開中のものに加え、平成 28 年度事業報告書及び計算書類等、平成 29 年度事業計画書及び収支予算書等を web サイトで情報公開した。

3. 業務執行体制の強化

2016 年 6 月開催の評議員会で役員及び評議員が任期満了となるので改選を行った。理事長、専務理事、常務理事が替わり、新たな体制となった。

運営委員（理事 4 名）が基本的に毎月 1 回運営委員会を開き、事業執行について、さまざまな角度から協議し、必要事項について、決定した。

原則として、週一で業務会議を開き、上記運営委員会で決められた内容を、運営側と事務方との間で確認し、業務執行の進捗状況や検討事項について打ち合わせをしながら、業務を遂行した。

4. 附属明細書について

平成 28 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。